

家庭教育学級



だより

30年度第2号



◆ 各学級への訪問記（第2弾） ◆

今回は、3学級の学習会の様子について、ご紹介いたします。

1 東光小学校 の皆様、ありがとうございました！

テーマ：親子でふれあい、共に学ぶ

講師：福永 和貴 さん（オタフクソース）



◎学習したこと

- ・お好み焼きの栄養素の豊富さ
- ・親子で試行錯誤しながら調理し、美味しいお好み焼きを作り上げる楽しさ



【学習会に参加して】

今年度、新たに必修学習項目に追加したテーマ『親子でふれあい、共に学ぶ』での学習会。キャベツの切り方、粉の混ぜ方、成形の仕方、焼き方、仕上げなどのお手本を子ども達も真剣に見聞きし、保護者の皆さんと共に積極的に調理に参加していました。プロが教える本格的な内容で、出来栄が全く違うことに驚かされました。

講師は「お好み焼き作りを通して、親子の団らんを大切にしてほしい」とお話しされていました。好きな具材、マヨネーズでのデコレーション等、親子で楽しく会話しながら取り組める要素も満載です。

2 虹の森カトリック幼稚園 の皆様、ありがとうございました！

テーマ：子育ての悩み、不安などについて学ぶ

講師：魚岸 あや子 さん（ぴんぽんはーと）



◎学習したこと

子どもは親のかかわり方次第で変わる。子どもが生まれてきてくれた瞬間を、いつまでも忘れないで欲しい。「神様からの授かり」だと、「可愛くてキラキラした存在」だとみんな思ったはず。その気持ちを胸に抱き、すべてを受け止めて、常日頃から子どもと触れ合っほしい。それが心の根っこを育てること、根拠のない自信をつけることにつながる。

子どもはいつか自分で歩き、自分の夢を追う。子育ては楽しい事ばかりではないけど、子どもがいるからこそ、親も成長していける。日本の子どもたちは自己肯定感が低いと言われているが、いつからでも「育て直し」はできます。

【学習会に参加して】

今年度から新たに開級した、虹の森カトリック幼稚園の学習会にお伺いしました。小さなお子さま連れの参加者も多く、会場の後方にはキッズスペースが設けられていました。

胆振東部地震の約2週間後の学習会ということもあり、講師から子どもたちの心のケアについても話がありました。一刻も早く日常を取り戻すことが大切で、「**大人はみんなあなたを守る存在**」だと伝えてあげましょう、と。

また、人は自分がされたことしか、自分の子どもにしてあげることができない。その中で、家庭内での父親の役割は、責任感や社会性を伝えること。母親は、何よりも愛情を伝えること。

講師自身の経験を交えながら、笑いあり、涙あり、お母さん方への応援あり。常に子どもに寄り添ったメッセージで、心の奥底に響く講演でした。



3 北都小学校 の皆様、ありがとうございました！

テーマ：親子スキンタッチ教室

講師：新津 澄子 さん（北海道鍼灸専門学校 親子スキンタッチ部）

◎学習したこと

- ・小児鍼灸とは「刺さない鍼^{はり}」のこと。北海道での馴染みは薄いですが、関西地方では小児の免疫強化法として一般的。ヘラのような物で体を優しくさすったり、つんつん突いたり。
- ・スキンタッチによる効能（皮膚への刺激による血行促進や免疫向上、ツボやその周辺への刺激によるリラックス効果、身体感覚へのアプローチによる自己肯定感の高まり 等）。スプーンと手で優しくさする、歯ブラシでトントン頭に当てる、ドライヤーで温めながらなでる等、様々なやり方がある。

【学習会に参加して】

子どもとのスキンタッチを継続していくことの大切さを学びました。子どもはまだ、ツボが定まっていないので、特定の場所だけではなく身体の広い範囲を優しくなでるようとの説明を聞き、参加者の皆さん同士で実践しました。

15分程度で試した結果、皆さん簡単に出来ることを知り、さっそく家に帰って子どもにやってみたいなどの感想が聞かれました。**子育てでは、色々なスキンシップの方法があることを改めて感じさせられました。**担当の山本家でもさっそく実践！下の子（1歳）は大変喜んでいましたが、上の子（3歳）にはあえなく逃走されました・・また挑戦します！



◆ 情報交換会を開催しました ◆

10月に「情報交換会」を市内6か所で開催しました。冒頭で約45分間のミニ講座を実施した後、他学級と情報を交換し合うグループ交流を行いました。どの会場でも、大変活発な交流がなされ、学級運営の工夫やオススメの講座などについて情報共有しました。

以下、いただいたご意見を一部ご紹介いたします（文字ばかりで恐縮です）。

《学級生募集》

- 入学式のプリントに入れる（もちろん学校を通して）。
- 手書きのお便りで人集めをしている。カラーの用紙を使う。（4校）
- Q&Aを詳しく作って学級生を募集したら、低学年の入級生が多くあった。
- 前年度のうちに次年度の活動計画を決めて募集すると、学級生が減らない。
- 全校に講座開催のお知らせを配った上、学校のHPを使って学級生を募集した。
- 学級生の人数を集めるのが大変ですが、OB・OGさんの力を借りていました。
- 転校生がいた場合、事前に担任の先生にお願いをして、すぐに連絡がいくようにしている。
- 学校のHPに載せてもらい、学級生を募集。入園・入学前のお便りでも紹介してもらう。

ミニ講座1

子どもの教育費の備え方



《役員選考》

- くじ引きで決めている。（4校）
- 現役員が後任の役員を指名する。（4校）
- やるべきことを決め、得意な人を配置して適材適所に。（2校）
例）お金の計算は得意 → 会計 食べ物に詳しい → 食育の講座担当
- 役員は、バトンタッチの時期が重要。ランチ会やお茶会などで仲良くなり、楽しい雰囲気の時をお願いしている。（7校）
- 最初にアンケートを出して集計。「できる」「誰もいないのならやっても良い」など結果に応じて、役を割り当てている。（3校）
- 固い肩書きに抵抗がある人もいる。「食育チーム」など、名称を工夫している。（3校）

ミニ講座5

我が子を見直す3つのポイント



《その他》

- LINEのグループを用いて、互いに連絡している。（6校）
- 近隣の学校と合同の講座を1つやることにし、負担を軽減した。複数回の講座を合同開催している学校もある。（2校）
- 学習会の企画運営は、担当グループに任せ、役員はサポートに徹する。
- 開級式ではランチを食べながら、年間の活動計画を決めると交流が深まる。
- 毎年テーマを決めて、年間で一貫した活動にすると、学習計画を決めやすい。
- 委託料は飲食に使用できないので、PTAにお願いして5,000円の補助をつけてもらっている。
- 校長先生の転勤が決まったら、家庭教育学級のこと引き継いでもらうよう依頼している。

情報交換会より 「好評だった講座について」

◎食べ物・食育関連

- ・スターバックスコーヒー ・メグミルク ・トモエ味噌 ・七草粥
- ・オタフクソース ・小樽の和菓子処「つくし牧田」 ・サムゲタン教室（食育）
- ・麴と甘酒、発酵食品 ・漬物講座 ・らでいっしゅぼーやの食育教育
- ・親子で裁判所見学（お父さんも参加） ・ビール工場 ・ソース作り
- ・ポッカレモン ・ヤクルト出前授業「おなか元気教室」 ・東洋水産
- ・明治の食育講座（チョコレート、ヨーグルトほか） ・木田製粉のパン作り教室
- ・小樽ビールの醸造所見学 ・開校記念日に親子でクッキング

グループ交流の様子



◎もの作り体験・見学 など

- ・蜜蝋リップクリーム作り ・親子でみそ作りやそば打ち体験
- ・親子で円山登山の後、動物園へ行きふれあう講座
- ・アサヒビール園見学 ・日本赤十字社見学
- ・北ガス親子で工場見学 ・100均の材料でできるDIY
- ・雪印種苗の寄せ植え体験 ・恵庭「吉田農場」のトウモロコシ狩り
- ・盲導犬ふれあい体験講座 ・親子で高校見学（中学校の場合）
- ・芸術の森の陶芸教室 ・ローズウィンドウ ・しめ縄作り
- ・フルーツカットデコレーション教室 ・くるるの杜で農作業、調理加工体験

◎その他

- ・気象予報士の講座 ・絵本講座
- ・歯科医師の歯並び、歯列矯正の講座
- ・SMBC コンシューマーファイナンスの家計講座
- ・HTB アナウンサーのコミュニケーション講座
- ・さっぽろ青少年女性活動協会の体験学習に関する講座
- ・日本食糧新聞社の食育講座（調理実習）
- ・親子で星空観察会（青少年科学館の出張講座）
- ・札幌市の健康づくりサポーター派遣事業を活用した講座
- ・不登校のお子さん育てた経験をお持ちの方のお話
- ・アンガーマネジメント ・NPO ピーチハウスによる性の健康教育
- ・消防署の小児救急講座 ・親子片づけ講座 ・キンダーリーブ
- ・新任の校長先生、教頭先生に講座のテーマを決めて講演をお願いする。
- ・学校内で講師を見つけて学習会を実施すると、調整もしやすく講師料も安く済んだ。

ミニ講座6「耳つぼ講座」を体験中の担当山本と上司の寺崎

